News Release

2026年11月 6日
京成電鉄株式会社

鉄道旅客運賃の改定を申請しました

1995年以来32年ぶりの運賃改定認可申請で運賃制度の統合を行います

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：天野 貴夫）は、2026年11月6日（金）に、2028年3月（予定）の改定実施に向けて、1995年以来32年ぶりに国土交通大臣宛に鉄道旅客運賃の変更認可申請を行いました。

当社はこれまで、「安全・安心」を第一に、東京都東部・千葉県で沿線の暮らしを支えると共に、成田空港輸送を担い、生活と社会経済活動に欠かせない公共交通機関として事業を運営してまいりました。

引き続き、安全・安心な輸送サービスをお客様にご提供し続けるために、多額の設備投資が必要となります。中長期的にも、現在計画されている成田空港の更なる機能強化に伴う空港利用者の増加に対応すべく、新型有料特急の導入や車両基地の拡充等の国や空港会社の取組に対応した大規模な投資が必要です。

一方で、テレワークなどの新たな生活様式の定着による社会構造の変化の中でお客様の減少、近年の物価上昇に伴う人件費・動力費・経費など各費用の増加、直近では中東情勢等による費用の更なる増加等、今後も厳しい経営環境が想定されます。

このような状況の中、安定的に鉄道事業を運営し、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供し続けるため、当社の経営努力を前提としたうえで、不足する費用の一部についてご利用されるお客様にご負担をお願いいたしたく、1995年以来32年ぶり（消費税率変更によるものを除く）となる鉄道旅客運賃の変更認可申請を行いました。

併せて、新京成電鉄との合併に伴い、現行運賃制度の異なる京成本線等と千原線、松戸線の運賃制度の統合を実施し、千原線及び松戸線と京成本線等を乗り継ぐ場合の併算を廃止する等、お客様にわかりやすい運賃制度に改めることで、利便性向上を図ってまいります。

引き続き「安全・安心」を第一に、「住みたい沿線」「訪れたい沿線」を実現するとともに、良質な商品・サービスを安全・快適に提供すべく事業を運営してまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申しあげます。

なお、「鉄道駅バリアフリー料金制度」による、運賃への鉄道駅バリアフリー料金の加算は、今回の運賃改定に併せて廃止いたします。

主な申請内容は、次頁の通りです。

＜主な申請内容＞

1. 実施予定時期

2028年3月

2. 初乗り運賃

	初乗り運賃　※()はICカード運賃			
	京成本線等	千原線	松戸線	成田空港線
現行	150円（146円）	200円（199円）	170円（167円）	210円（210円）
申請	170円（167円）			230円（229円）

※京成本線等・千原線の現行運賃は鉄道駅バリアフリー料金を含みます。

3. 改定率・増収率および定期割引率

	改定率（増収率）				定期割引率			
	普通運賃	通勤定期	通学定期	合計	京成本線等		成田空港線	
					通勤	通学	通勤	通学
現行	－	－	－	－	34.5%	80.0%	30.2%	56.1%
申請	14.3%（12.6%）	16.9%（13.5%）	△11.5%（△7.2%）	14.1%（12.2%）	36.3%	83.1%	30.8%	61.4%

※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率・増収率・定期割引率です。

4. 運賃制度の統合について

普通旅客運賃・定期旅客運賃ともに、千原線・松戸線の運賃を京成本線等と同額にいたします。併せて、京成本線等と千原線、松戸線を跨がる場合の運賃の併算（跨って利用する路線ごとの運賃収受）を廃止いたします。ただし、松戸線内の利用は京成本線等と運賃を同額とすることで、運賃額が高くなることから、認可を受ける運賃とは別に、松戸線内利用の運賃を届出により設定する予定です（これにより、6kmを超える利用は京成本線等の運賃額より低い運賃額となります）。利用方に合わせた運賃収受は以下の通りです。

利用方	運賃改定前の運賃収受	運賃改定後の運賃収受（※1、※2）
①京成本線内の利用	京成本線等運賃	京成本線等運賃
②成田空港線内の利用	成田空港線運賃	成田空港線運賃
③京成本線と成田空港線の利用	京成本線等運賃 ＋ 成田空港線運賃	京成本線等運賃 ＋ 成田空港線運賃
④千原線内の利用	千原線運賃	京成本線等運賃
⑤京成本線と千原線の利用	京成本線等運賃 ＋ 千原線運賃	京成本線等運賃
⑥松戸線内の利用	松戸線運賃	松戸線内運賃
⑦京成本線と松戸線の利用	京成本線等運賃 ＋ 松戸線運賃	京成本線等運賃
⑧松戸線と成田空港線の利用	松戸線運賃 ＋ 成田空港線運賃	松戸線内運賃 ＋ 成田空港線運賃
⑨松戸線・京成本線・千原線の利用	松戸線運賃 ＋ 京成本線等運賃 ＋ 千原線運賃	京成本線等運賃

※1　「京成本線等」には、運賃改定前は東成田線・押上線・金町線・千葉線を含み、運賃改定後は東成田線・押上線・金町線・千葉線・千原線・松戸線を含みます。

※2　ただし、松戸線については、認可運賃とは別に松戸線内利用の運賃を届出により設定するため、上記表では「松戸線内運賃」で表記しています。

5. その他

・京成本線等・千原線で収受している鉄道駅バリアフリー料金（普通旅客運賃・通勤定期旅客運賃のみ）は、今回の運賃改定に併せて廃止いたします。なお、現在整備計画にある施設整備を継続して実施するとともに、これまで以上に施設整備を推進してまいります。

・京成成田駅～空港第2ビル・成田空港駅間等の加算運賃は変更いたしません。

・2027年3月13日にスカイライナーの特急料金を改定する予定です（一律大人200円、小児100円を引き上げます）。

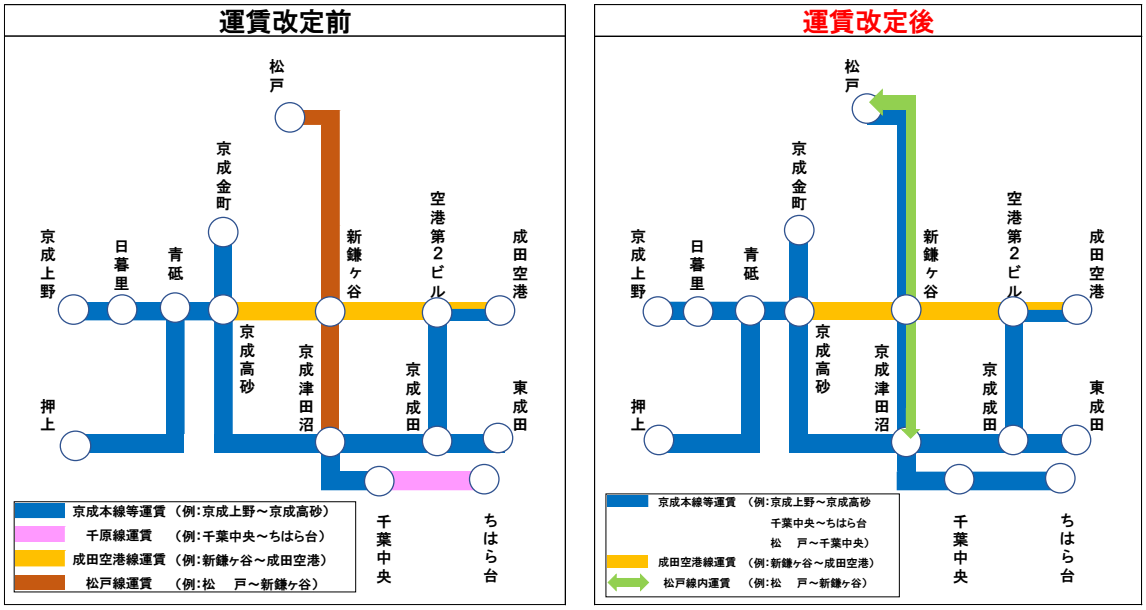
なお、イブニング・モーニングライナー、シティライナーの特急料金は変更いたしません。

【参考】運賃制度の統合

1. 運賃制度の統合

当社は京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線含む）・千原線・成田空港線で3つの運賃制度を有していたところに松戸線が加わり、4つの運賃制度となりました。路線ごとに運賃制度が異なるほか、自社線内にもかかわらず乗り継いだ際に運賃を併算しており、わかりにくい運賃制度となっています。この点を改善すべく、京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線含む）・千原線・松戸線・成田空港線で4つある運賃制度を、京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線・千原線・松戸線含む）・成田空港線の2つに整理いたします。

※成田空港線の京成高砂駅～印旛日本医大駅間の相互利用は、北総線と同じ運賃制度のため当社だけで運賃を改定できず、京成本線等と同一にすることができません。



2. 千原線に適用する運賃

（1）千原線内の利用

京成本線等と千原線の運賃は同額となります。

（2）京成本線等と千原線を跨がる利用

京成本線等と千原線それぞれで収受（千葉中央駅で打ち切って併算で収受）していた運賃を京成本線等のみで収受（千葉中央駅で打ち切らず通算で収受）する運賃といたします。

3. 松戸線に適用する運賃

（1）松戸線内の利用

①普通旅客運賃・通勤定期旅客運賃

京成本線等と運賃を同額とすることで、運賃額が高くなることから、認可を受ける運賃とは別に、松戸線内利用の運賃を届出により設定する予定です（これにより、6kmを超える利用は京成本線等の運賃額より低い運賃額となります）。

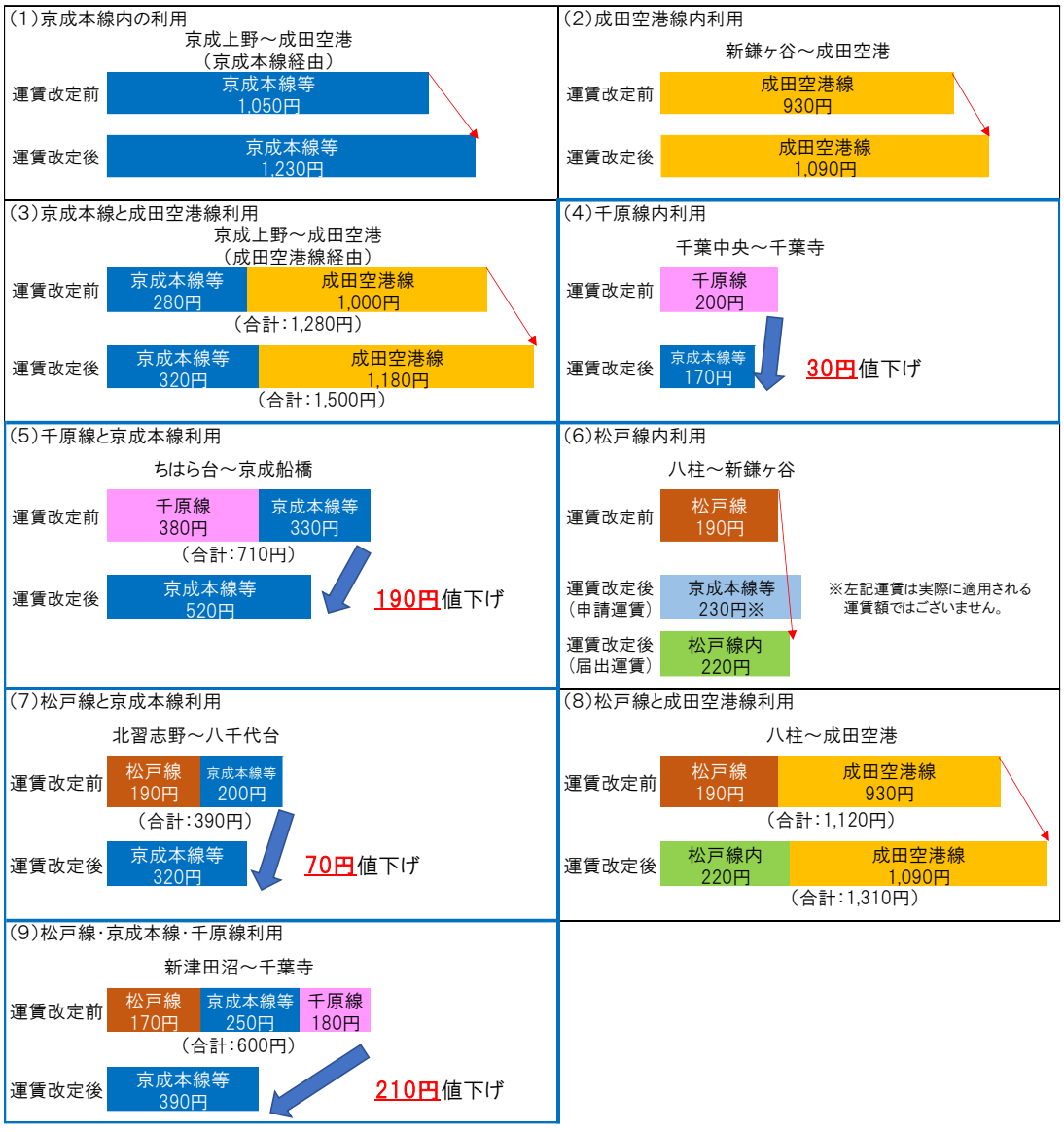
②通学定期旅客運賃

京成本線等と同額といたします。

(2)京成本線等と松戸線を跨がる利用

京成本線等と松戸線それぞれで収受(京成津田沼駅で打ち切って併算で収受)していた運賃を京成本線等のみで収受(京成津田沼駅で打ち切らず通算で収受)する運賃といたします。

4. 各線の運賃改定前後比較



【お客様のお問合せ先】

京成お客様ダイヤル　0570－081－160(ナビダイヤル)

音声ガイダンスに従い【2番】を選択　≪受付時間　9:00～18:00≫

以　上

別紙

鉄道旅客運賃の改定申請について

1. 鉄道事業の概要

当社はこれまで、「安全・安心」を第一に、東京都東部・千葉県で沿線の皆様の暮らしを支えると共に、成田空港輸送を担い、国民生活と社会経済活動に欠かせない公共交通機関として事業を運営してまいりました。1998年には千葉急行電鉄（現在の千原線）から鉄道事業を譲り受け、2010年には空港アクセス新線として成田空港線を開業させたほか、2025年には新京成電鉄（現在の松戸線）と合併するなど、地域輸送の維持、成田空港輸送の強化に努めてまいりました。

2. これまでの取組み

（1）安全・安定輸送の確保

①連続立体交差事業

沿線自治体と連携し、踏切の除却による交通渋滞や事故リスクの低減、ならびに列車運行の安全性・安定性の向上を目的として、連続立体交差事業を推進してまいりました。

京成本線においては、2006年11月に海神駅～船橋競馬場駅間の高架化が完了し、16カ所の踏切を廃止いたしました。また、押上線においては2015年8月に押上駅～八広駅間の高架化が完了し、8カ所の踏切を廃止いたしました。さらに、松戸線においては2019年12月に鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間の高架化が完了し、12カ所の踏切を廃止いたしました。

現在は、押上線葛飾区内（四ツ木駅～青砥駅間）の連続立体交差事業を推進しております。この事業が完了すると、沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりがさらに推進されます。

②ホームの安全対策

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、ホームドアの設置を推進してまいりました。2025年度末時点で、日暮里駅、空港第2ビル駅、成田空港駅、押上駅に設置したほか、京成上野駅にホーム固定柵を設置いたしました。2026年度は堀切菖蒲園駅、青砥駅、京成高砂駅、八広駅、市川真間駅、鬼越駅、京成中山駅、船橋競馬場駅のホームドアの設置を引き続き推進しております。

内方線付き点状ブロックについては、2025年度に1駅（みのり台駅）内方線の整備を完了し、整備対象となる84駅全駅で整備が完了いたしました。

ホームと車両の段差・隙間縮小については、2025年度までに上本郷駅、みのり台駅が完了したほか、現在は新津田沼駅や北習志野駅で整備を推進しております。

③自然災害・安心安全対策

耐震補強や法面補強等、鉄道施設の強靭化、計画的な施設更新の安全対策を強化してまいりました。

大規模地震への対策として、鉄道施設の耐震補強工事を推進し、2022年度に千葉中央駅～千葉寺駅間において高架橋柱耐震補強が完了しており、現在は千葉寺駅～ちはら台駅間の工事を推進しております。

また、集中豪雨などにより法面の土砂が流出することを防ぐため、2023年度に谷津駅～京成津田沼駅間の法面補強を実施いたしました。現在は京成成田駅～空港第2ビル駅間や公津の杜駅～京成成田駅間、京成佐倉駅～大佐倉駅間の工事を推進しております。

安全対策においても、更なる輸送の安全確保のため、京成線全線でデジタルＡＴＳ「Ｃ－ＡＴＳ」の整備を進めてまいりました。「Ｃ－ＡＴＳ」は、従来のＡＴＳよりも保安度を向上させたデジタルＡＴＳで、それぞれの信号区間に合わせたより細かい速度照査（スピードチェック）が可能になるなど、更なる輸送の安全確保に寄与します。2026年1月、松戸線の一部未整備箇所への導入により、松戸線を含む京成線全線での整備が完了いたしました。

④車両代替（3200形）

2024年度より導入している3200形は、「人や環境にやさしいフレキシブルな車両」をコンセプトに、フレキシブルに編成車両数を変更できる車両とすることで、輸送需要に見合った効率的な走行エネルギーの使用により環境負荷の低減に努めています。車内設備では、あらゆるお客様が安全・快適にご利用いただけるよう、各車両に車いすスペースまたはフリースペースを設けるほか、吊り手の高さを下げるなどのバリアフリー設備を充実させております。

また、各車両に防犯カメラを設置し、車内非常通話装置と連動させることで、客室内の防犯カメラ映像について乗務員室での迅速な確認を実現いたしました。さらに最新の半導体を使用したSiC－ＶＶＶＦ制御装置を搭載することにより、当社3500形車両と比較して電力消費量を約69％削減します。

（2）サービスの改善

①バリアフリー整備

すべてのお客様へ更に安全・安心・快適にご利用いただける鉄道を目指すべく、ホームドアをはじめとしたバリアフリー設備の整備を推進してまいりました。

2025年度末時点において、1日のご利用者数3千人以上の駅及び、2千人以上3千人未満の自治体が作成するバリアフリー基本構想において重点整備地区内の生活関連施設に位置づけられた駅については、85駅中84駅でエレベーター・スロープ等による段差解消を実現しており、バリアフリートイレについても、85駅中84駅で整備が完了いたしました。

②駅舎リニューアル

沿線地域の特性活用や、自治体や民間企業と地域連携を図りながら、耐震補強工事と併せて駅舎リニューアルを行うことにより、お客様の安全性と利便性の向上を図りました。

2025年度は京成中山駅、京成大和田駅、新千葉駅のリニューアルを実施いたしました。今回のリニューアルでは、SDGsの観点から一部内装へ古材を再利用したほか、地域の歴史や景観を取り入れた内装デザインの採用、千葉県産の木材を使用した木ルーバーの設置など、地域との連携を強化いたしました。

③AI顔認証を活用した乗車サービス

2025年1月より、インターネットチケット購入サービス「Skyliner　e－ticket」に顔認証で乗車が可能となるサービス「Skyliner　e－ticket　Face　Check In　Go」を導入しております。事前に顔情報を登録し、乗車駅の改札通過時に設置されたタブレットに顔をかざすだけで、スカイライナーの座席指定チケットが発券され、窓口や券売機に並ぶことなくそのままご乗車いただけるサービスです。

（3）輸送力増強

2010年7月に成田空港線が開業し、スカイライナーでの日暮里駅～空港第2ビル駅間の所要時間がそれまでの最速51分から36分となり、15分の短縮を実現いたしました。

また、成田空港の更なる機能強化に伴う将来の航空旅客の増加に向け、輸送力を強化すべく、宗吾車両基地の拡充や新型有料特急の導入を推進しております。

3. 今後の設備投資方針

2025年5月、京成グループでは、長期経営計画「Dプラン」のもと、2027年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「D2プラン」を策定しました。この計画の実現に向けて、「安全・安心」を事業の基盤に、「日々の暮らし」「観光振興」「空港輸送」をグループビジョン実現に向けた方向性として、中長期的に取り組んでまいります。鉄道事業においては、地域や企業、自治体の皆さまと連携し、「安全・安定輸送の確保」「お客様サービスの向上」「輸送力増強」の実現に向け、事業基盤ならびに重点施策に沿って設備投資を実施してまいります。

4. 運賃改定の理由

（1）これまでの当社の経営状況

当社はこれまで、「安全・安心」を第一に、東京都東部・千葉県で沿線の皆様の暮らしを支えると共に、成田空港輸送や地域の観光振興等を担い、生活に欠かせない公共交通機関として事業を運営してまいりました。1998年には千葉急行電鉄（現在の千原線）から鉄道事業を譲受、2010年には新線として成田空港線を開業させたほか、2025年には新京成電鉄（現在の松戸線）と合併して更なる利便性を追求しました。設備投資では、安全・安定輸送の確保に必要な設備投資を最優先

に、過去10年で約1，850億円の投資を行い、新造車両への代替やバリアフリー設備の整備など、サービス向上のための設備投資も継続しつつ、あらゆる経営の効率化に取り組んできたことで、消費税率の変更による運賃改定を除き、京成電鉄としては1995年に実施した運賃改定で認可された上限運賃の範囲内で運賃水準を維持してまいりました。主な施策として、運転部門においては、2022年11月から一部時間帯においてワンマン化を実施しました。また、駅務部門においては、2007年12月から遠隔監視駅および一人勤務駅を設定しました。これらの取り組みを推進しながらも、安全の確保やサービス向上のための設備投資は継続しつつ、積極的な経費の抑制や業務効率化を行うことで、鉄道事業を継続してまいりました。

（2）安全・安心に係る施策

当社はこれまでも、安全・安心に係る施策に着実に取り組んでまいりました。一方で、激甚化する自然災害への対策強化やバリアフリー対応、ハードの環境性能の向上等、増加するコストに対応して交通サービスの持続的な提供を可能とすべく、運賃改定を実施したいと考えております。

今後、各施設の耐震補強工事や法面補強工事、運行管理装置の更新等を着実に遂行していくほか、バリアフリー対応では従来の計画を加速して施策に取り組みます。今後、2035年度までに21駅57番線へのホームドア設置を予定しているほか、3駅で段差解消を予定しており、これにより京成線全駅で段差が解消いたします。当社は大手各社と比べてホームドア整備が遅れているため、自治体の要請等も踏まえ、ホームドア整備を加速してまいります。なお、鉄道駅バリアフリー料金制度は今回の運賃改定で廃止する予定ですが、今後もバリアフリー対応を推進していきます。

（3）施設の老朽化対策

駅舎のリニューアル工事や高架橋・防護桁の改修、変電所設備の更新、トンネル修繕等を推進してまいります。

（4）成田空港アクセスへの継続的な投資

成田空港の更なる機能強化による中長期的な需要増加に対応するため輸送力の増強が不可欠であり、事業エリア全体で大規模かつ多種多様な投資が必要となっております。当社では2028年度に新型有料特急が運行を開始する予定であるほか、宗吾車両基地の拡充で需要増加に対応する予定です。

（5）公共連携プロジェクト

お客様の安全を守る取り組みとして、国や自治体と連携して「京成本線荒川橋梁架替工事」や「葛飾区内連続立体交差事業」等の大規模工事を推進するほか、「京成高砂駅付近連続立体交差事業」も事業化に向けて準備を進めてまいります。

（6）松戸線における利便性・サービス向上施策

新京成電鉄との合併に伴い、松戸線における利便性・サービス向上策として、京成津田沼駅の6番線ホームを千葉線と接続する工事を実施し、松戸線と千葉線の直通時間帯を拡大するほか、松戸線～千原線の直通運転を実施して利便性向上を図ります。さらに、3200形車両の導入やホームの嵩上げ工事等によるバリアフリー化の推進に取り組んでまいります。また、滝台橋梁（前原駅～薬園台駅間）での橋梁耐震補強、五香駅付近の保守用車の基地整備等を進めてまいります。

（7）物価及び人件費の高騰

2020年度と2025年度を比較した場合、電力料金は当社実績で33．3%、資材費は国土交通省が公表している建設工事費デフレーターで21．9%上昇しています。物価は日々継続的に上昇しており、鉄道事業に係る経費は今後とも増加していくことが見込まれます。また、人材確保は事業継続の観点から深刻な課題となっており、賃金引上げ等の従業員の処遇改善を図りながら、着実に人材を確保していくことが不可欠となっております。

（8）運賃制度の統合

当社は京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線含む）・千原線・成田空港線で3つの運賃制度を有していたところに松戸線が加わり、4つの運賃制度となりました。路線ごとに運賃制度が異なるほか、自社線内にもかかわらず乗り継いだ際に運賃を併算しており、わかりにくい運賃制度となっています。この点を改善すべく、京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線含む）・千原線・松戸線・成田空港線で4つある運賃制度を、京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線・千原線・松戸線含む）・成田空港線の2つに整理いたします。

※成田空港線の京成高砂駅～印旛日本医大駅間の相互利用は、北総線と同じ運賃制度のため、当社だけで運賃を改定できず、京成本線等と同一にすることができません。

5．主な申請の内容

（1）申　請　日　　2026年11月6日

（2）改　定　率　　平均14．1%

（現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率）

（3）初乗り運賃（3キロまで）　京成本線等（上限運賃）

1円単位上限運賃　167円（現行146円）

10円単位上限運賃　170円（現行150円）

成田空港線（上限運賃）

1円単位上限運賃　229円（現行210円）

10円単位上限運賃　230円（現行210円）

※現行は鉄道駅バリアフリー料金を含めた金額

千原線及び松戸線は京成本線等と運賃制度を統合する

(4)定 期 運 賃 割 引 率　京成本線等　通勤36．3%(現行　34．5%)
通学83．1%(現行　80．0%)
成田空港線　通勤30．8%(現行　30．2%)
通学61．4%(現行　56．1%)
※現行は鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合

(5)改 定 率・増 収 率 一 覧

		上限運賃	
		改　定　率	増　収　率
定　期　外		14．3%(16．8%)	12．6%(15．0%)
定　期	通　勤	16．9%(22．4%)	13．5%(18．9%)
	通　学	△11．5%	△7．2%
	計	13．7%(18．4%)	11．2%(15．9%)
合　計		14．1%(17．3%)	12．2%(15．3%)

※()内は現行運賃から鉄道駅バリアフリー料金を除く場合

6．これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

(1)これまでの取り組み

①一部時間帯のワンマン化実施

2022年11月のダイヤ改正で金町線、千原線、東成田線の一部時間帯においてワンマン化を実施いたしました。

②ダイヤの適正化

2022年11月のダイヤ改正で、日中・夜間時間帯における運行本数の見直しおよび一部列車の行先・種別の変更を実施し、乗り換えの利便性を向上しました。

③業務効率化

運輸部門では、上記施策の実施に併せて、乗務員の勤務体系を効率化したほか、施設部門では組織体制の見直しを行い、運営体制を効率化いたしました。

④一人勤務駅の設定

京成本線・千葉線では2016年3月から駅員数を一人にする一人勤務駅を設定したほか、松戸線では2007年12月から遠隔監視駅及び一人勤務駅を設定しました(現在:88駅中16駅)。

⑤省エネ車両の導入

2024年度より、新形式車両3200形を導入しております。フレキシブルに編成車両数を変更できるほか、消費電力のさらなる低減を図ることで環境への配慮を図っております。

（2）今後の取り組み

・磁気乗車券からQRコード※を使用した乗車券への置き換え

当社を含めた鉄道7社にて、磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券への置き換えを2027年春から実施いたします。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

7. 発売している主な企画商品と発売チャネルの拡大

（1）主な企画乗車券

①Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket

LCC航空機内、LCC就航地方都市で購入出来るスカイライナーと東京の地下鉄全線が24時間、48時間、72時間乗り降り自由な「Tokyo Subway Ticket」がセットになったおトクなチケットです。

②Tokyo City Pass

東京の地下鉄乗り放題とレジャー体験、食事クーポンに加え、スカイライナーの片道乗車券・特急券をオプションで追加したチケットです。

③旅する佐倉1日きっぷ

京成佐倉駅までの往復乗車券と佐倉市内での移動手段、食事券・お土産券がセットになったアプリチケットです。

④下町日和きっぷ

京成線の都内エリアが1日乗り降り自由になる乗れば乗るほどおトクなきっぷです。

⑤成田開運きっぷ

成田へ行くならおトクなきっぷで開運成就！通常往復運賃よりおトクな上、優待特典が満載です。

（2）Skyliner e－ticket Face Check In Go

インターネットチケット購入サービス「Skyliner e－ticket」の新たなサービスとして、顔認証を活用することで、窓口等での事前引換をすることなく、スカイライナーへの乗車が可能となるサービスを2025年1月から導入しております。

8. 利用者サービスの向上策

「安全・安定輸送の確保」のための設備投資を最優先に実施するとともに、「お客様サービスの向上」のための設備投資、「輸送力増強」のための設備投資の3つの視点で積極的に設備投資を実施してまいります。

【安全・安定輸送の確保】

①車両代替（3200形）

3200形を順次導入してまいります。車内設備では、あらゆるお客様が安全・快適にご利用いただけるよう、各車両に車いすスペースまたはフリースペースを設けるほか、吊り手の高さを下げるなどのバリアフリー設備も充実させます。また、各車両に防犯カメラを設置し、車内非常通話装置と連動させることで、客室内の防犯カメラ映像を乗務員室で迅速に確認出来るようにいたします。

②激甚化する自然災害への対策

大規模地震への対策として、高架橋以外にも橋脚、トンネル中柱、駅などの構造物の耐震補強工事を順次実施し、地震に対する安全性を向上させます。また、集中豪雨などにより法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため法面調査を実施し、優先順位の高い箇所から補強工事を実施してまいります。さらに、京成本線荒川橋梁付近の堤防は広域地盤沈下の影響で、周辺堤防より低い状態にあり、荒川増水時には橋梁部分から水が溢れて堤防が決壊する恐れがあることから、堤防をかさ上げするための橋梁架替工事を引き続き推進いたします。

③連続立体交差事業

押上線葛飾区内（四ツ木駅～青砥駅間）の連続立体交差事業を推進いたします。平和橋通り等の沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消いたします。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。

【お客様サービスの向上】

①バリアフリーの整備

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、ホームドア設置を引き続き推進いたします。従来の計画を加速して取り組むとともに、当社が列車を増発することで、通過列車（スカイライナー及び新型有料特急、アクセス特急）が増加する北総線内の駅に対し、ホームドアを設置いたします。今後、2035年度までに21駅57番線へのホームドア設置を予定しております。

また、段差解消やバリアフリートイレについては、2030年度までに京成線全駅での段差解消・整備を予定しております。

②駅舎リニューアル

経年劣化に対応するため、駅舎のリニューアルを実施いたします。併せて、耐震補強やバリアフリー化工事などの関連施策と一体的に進めることで、安全性・利便性の向上を図ります。

③松戸線と千葉線の直通運転拡大

松戸線と千葉線の直通運転の更なる拡大のため、ホームの一部と車止めを撤去することで6番線の線路を延長し、5番線と接続いたします。5・6番線の両方から千葉線への乗り入れが可能となることで、松戸線と千葉線の直通時間帯を拡大するほか、松戸線～千原線の直通運転を実施することで、利便性・サービス向上を図ります。

④磁気乗車券からQRコード※を使用した乗車券への置き換え

鉄道サービスの持続的な提供を実現するため、より環境にやさしい用紙への置き換えやお客様サービスの向上を目的に、磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券への置き換えを2027年春以降、駅務機器の更新と並行して順次実施いたします。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【輸送力増強】

①宗吾車両基地拡充

成田空港の更なる機能強化に伴い、今後更なる空港利用者の増加が見込まれており、当社としても空港輸送を支える立場として、将来の旅客需要確保に向けて輸送力を強化していく必要があります。そのためには、現宗吾車両基地内の留置機能強化および工場規模拡充が必要となることから、宗吾車両基地を拡充いたします。

②新型有料特急の導入

成田空港の更なる機能強化に対応するため、空港と都心間の更なる輸送力増強およびサービス向上を図るべく、2028年度の運行開始に向けて新型有料特急を導入いたします。2027年度に1編成（8両）、2028年度に6編成（48両）の導入を予定しております。

9. お問い合わせについて

京成お客様ダイヤル　0570－081－160（ナビダイヤル）

音声ガイダンスに従い【2番】を選択　≪受付時間　9:00～18:00≫

10. 添付資料

（1）申請・現行運賃比較表
 ①普通旅客運賃（大人）
 ②通勤定期旅客運賃（大人1ヶ月）
 ③通学定期旅客運賃（大人1ヶ月）
（2）主要区間現行・申請（届出）比較運賃
 ①普通旅客運賃（大人）
 ②通勤定期旅客運賃（大人1ヶ月）
 ③通学定期旅客運賃（大人1ヶ月）
（3）鉄道収支実績および推定
（4）運賃収入内訳
（5）輸送人員の推移および今後の見通し
（6）設備投資実績・計画
 ①設備投資実績と計画
 ②主要プロジェクトの内容

（1）申請・現行運賃比較表

＜今回の改定のポイント＞

〇平均で14．1％の改定とする。

（現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率）

〇通学定期旅客運賃は家計負担に配慮し、据え置きといたします。

〇普通旅客運賃・定期旅客運賃ともに、千原線・松戸線の運賃を京成本線等と同額にいたします。併せて、京成本線等と千原線、松戸線を跨がる場合の運賃の併算（跨って利用する路線それぞれでの運賃収受）を廃止します。ただし、松戸線内の利用は京成本線等と運賃を同額とすることで、運賃額が高くなることから、認可を受ける運賃とは別に、松戸線内利用の運賃を届出により設定する予定です（これにより、6kmを超える利用は京成本線等の運賃額より低い運賃額となります）。

利用方	運賃改定前の運賃収受
①京成本線内の利用	京成本線等運賃
②成田空港線内の利用	成田空港線運賃
③京成本線と成田空港線の利用	京成本線等運賃 ＋ 成田空港線運賃
④千原線内の利用	千原線運賃
⑤京成本線と千原線の利用	京成本線等運賃 ＋ 千原線運賃
⑥松戸線内の利用	松戸線運賃
⑦京成本線と松戸線の利用	京成本線等運賃 ＋ 松戸線運賃
⑧松戸線と成田空港線の利用	松戸線運賃 ＋ 成田空港線運賃
⑨松戸線・京成本線・千原線の利用	松戸線運賃 ＋ 京成本線等運賃 ＋ 千原線運賃

運賃改定後の運賃収受（※1、※2）
京成本線等運賃
成田空港線運賃
京成本線等運賃 ＋ 成田空港線運賃
京成本線等運賃
京成本線等運賃
松戸線内運賃
京成本線等運賃
松戸線内運賃 ＋ 成田空港線運賃
京成本線等運賃

※1 「京成本線等」には、運賃改定前は東成田線・押上線・金町線・千葉線を含み、運賃改定後は東成田線・押上線・金町線・千葉線・千原線・松戸線を含みます。

※2 ただし、松戸線については、認可運賃とは別に松戸線内利用の運賃を届出により設定するため、上記表では「松戸線内運賃」で表記しています。

（参考）各線の運賃改定前後比較（例）



○初乗り運賃は現行（京成本線等のみ、鉄道駅バリアフリー料金含みの水準）と比較して20円程度の改定とする。

初乗り運賃　　1　円単位上限運賃　京成本線等：167円、成田空港線：229円
（現行　京成本線等：146円、成田空港線：210円）
10　円単位上限運賃　京成本線等：170円、成田空港線230円
（現行　京成本線等：150円、成田空港線：210円）

①普通旅客運賃（大人）

・京成本線等　（単位：円）

キロ程	現行運賃（ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）		申請運賃	
	ICカード（1円単位）	きっぷ（10円単位）	ICカード（1円単位）	きっぷ（10円単位）
1～3	146	150	167	170
4～5	167	170	196	200
6～10	199	200	229	230
11～15	272	280	314	320
16～20	335	340	387	390
21～25	387	390	449	450
26～30	450	450	520	520
31～35	502	510	585	590
36～40	555	560	649	650
41～45	618	620	720	720
46～50	681	690	801	810
51～55	743	750	875	880
56～60	796	800	939	940
61～65	859	860	1,010	1,010
66～70	912	920	1,081	1,090

・成田空港線　（単位：円）

キロ程	現行運賃		申請運賃	
	ICカード（1円単位）	きっぷ（10円単位）	ICカード（1円単位）	きっぷ（10円単位）
1～3	210	210	229	230
4～5	314	320	344	350
6～7	388	390	425	430
8～9	462	470	511	520
10～11	524	530	583	590
12～14	597	600	667	670
15～17	660	660	739	740
18～20	712	720	803	810
21～23	765	770	865	870
24～26	796	800	907	910
27～29	828	830	946	950
30～33	859	860	990	990
34～37	891	900	1,031	1,040
38～41	922	930	1,081	1,090
42～45	953	960	1,123	1,130
46～49	974	980	1,144	1,150
50～52	995	1,000	1,180	1,180

・(参考1)千原線　　(単位:円)

キロ程	現行運賃(ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含)		申請運賃	
	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)
1～3	199	200	167	170
4～5	261	270	196	200
6	282	290	229	230
7	303	310	229	230
8	324	330	229	230
9	335	340	229	230
10	356	360	229	230
11	377	380	314	320

・(参考2)松戸線・申請運賃(京成本線等と同額)　　(単位:円)

キロ程	現行運賃		申請運賃	
	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)
1～3	167	170	167	170
4～5	167	170	196	200
6～9	188	190	229	230
10	209	210	229	230
11～13	209	210	314	320
14～15	230	230	314	320
16～17	230	230	387	390
18～20	252	260	387	390
21～22	252	260	449	450
23～25	272	280	449	450
26～27	272	280	520	520

※上記に記載の運賃は、実際に収受する運賃とは異なります。
　実際に収受する運賃は(参考3)松戸線・届出運賃をご覧ください。

・(参考3)松戸線・届出運賃　　(単位:円)

キロ程	現行運賃		届出運賃	
	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)
1～3	167	170	167	170
4～5	167	170	196	200
6～9	188	190	218	220
10	209	210	218	220
11～13	209	210	249	250
14～15	230	230	249	250
16～17	230	230	270	270
18～20	252	260	270	270
21～22	252	260	301	310
23～25	272	280	301	310
26～27	272	280	321	330

※上記に記載の運賃は、別途、本申請の認可後に届出を行う予定です。

②通勤定期旅客運賃（大人1ヶ月）

・京成本線等　（単位：円）

キロ程	現行運賃 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）	申請運賃
1～5	5,900	6,350
6～10	8,460	9,420
11～15	11,030	12,500
16～20	13,270	15,180
21～25	15,520	17,850
26～30	17,440	20,120
31	18,730	21,660
32	19,360	22,400
33	19,900	23,040
34	20,320	23,520
35	20,640	23,880
36	20,750	24,020
37	20,850	24,140
38	20,970	24,280
39	21,070	24,380
40	21,170	24,500
41	21,290	24,640
42	21,390	24,760
43	21,500	24,900
44	21,600	25,020
45	21,710	25,140
46	21,820	25,280
47	21,920	25,400
48	22,040	25,540
49	22,140	25,640
50	22,240	25,760
51	22,350	25,880
52	22,460	26,020
53	22,560	26,120
54	22,670	26,240
55	22,780	26,380
56	22,890	26,490
57	22,990	26,590
58	23,090	26,700
59	23,210	26,820
60	23,310	26,940
61	23,410	27,060
62	23,530	27,200
63	23,630	27,320
64	23,740	27,440
65	23,850	27,550
66	23,950	27,650
67	24,060	27,780
68	24,160	27,880
69	24,280	28,020
70	24,380	28,140

・成田空港線　（単位：円）

キロ程	現行運賃	申請運賃
1～3	8,780	9,490
4～5	13,170	14,300
6～7	16,250	17,640
8～9	19,320	21,180

キロ程	現行運賃	申請運賃
10～11	21,960	24,220
12～14	25,020	27,700
15～17	27,660	30,700
18～20	29,850	33,360
21～23	32,050	35,920
24～26	33,370	37,700
27～29	34,690	39,300
30～33	36,010	41,140
34～37	37,320	42,800
38～41	38,640	44,920
42～45	39,960	46,680
46～49	40,840	47,560
50～52	41,720	49,080

・(参考1)千原線　　(単位:円)

キロ程	現行運賃 (ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含)	申請運賃
1～3	8,070	6,350
4～5	10,150	6,350
6	10,980	9,420
7	11,820	9,420
8	12,650	9,420
9	13,480	9,420
10	14,310	9,420
11	15,150	12,500

・(参考2)松戸線・申請運賃(京成本線等と同額)　(単位:円)

キロ程	現行運賃	申請運賃
1～3	6,240	6,350
4～5	6,240	6,350
6～9	7,070	9,420
10	7,810	9,420
11～13	7,810	12,500
14～15	8,560	12,500
16～17	8,560	15,180
18～20	9,670	15,180
21～22	9,670	17,850
23～25	10,420	17,850
26～27	10,420	20,120

※上記に記載の運賃は、実際に収受する運賃とは異なります。
　実際に収受する運賃は(参考3)松戸線・届出運賃をご覧ください。

・(参考3)松戸線・届出運賃　　(単位:円)

キロ程	現行運賃	届出運賃
1～3	6,240	6,350
4～5	6,240	6,350
6～9	7,070	8,470
10	7,810	8,470
11～13	7,810	9,360
14～15	8,560	9,360
16～17	8,560	10,260
18～20	9,670	10,260
21～22	9,670	11,580
23～25	10,420	11,580
26～27	10,420	12,480

※上記に記載の運賃は、別途、本申請の認可後に届出を行う予定です。

③通学定期旅客運賃（大人1ヶ月）

・（参考1）千原線　　（単位：円）

キロ程	現行運賃	申請運賃
1	5,700	1,070
2	5,700	1,350
3	5,700	1,640
4	7,300	1,890
5	7,300	2,140
6	7,950	2,390
7	8,600	2,620
8	9,230	2,850
9	9,870	3,050
10	10,510	3,260
11	11,150	3,470

・（参考2）松戸線　　（単位：円）

キロ程	現行運賃	申請運賃
1	3,290	1,070
2	3,290	1,350
3	3,290	1,640
4	3,290	1,890
5	3,290	2,140
6	3,760	2,390
7	3,760	2,620
8	3,760	2,850
9	3,760	3,050
10	4,160	3,260
11	4,160	3,470
12	4,160	3,640
13	4,160	3,790
14	4,560	3,950
15	4,560	4,080
16	4,560	4,220
17	4,560	4,330
18	5,150	4,440
19	5,150	4,530
20	5,150	4,620
21	5,150	4,700
22	5,150	4,760
23	5,550	4,810
24	5,550	4,850
25	5,550	4,880
26	5,550	4,910
27	5,550	4,950

※京成本線等・成田空港線は現行の運賃額を据え置きます。

(2)主要区間現行・申請(届出)比較運賃

①普通旅客運賃(大人)　　(単位:円)

	現行運賃(ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含)		申請運賃	
	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)	ICカード (1円単位)	きっぷ (10円単位)
京成上野～成田空港(京成本線経由)	1,052	1,060	1,221	1,230
京成上野～成田空港(成田空港線経由)	1,267	1,280	1,494	1,500
押上～成田空港(京成本線経由)	999	1,000	1,150	1,150
押上～成田空港(成田空港線経由)	1,194	1,200	1,409	1,410
京成上野～青砥	272	280	314	320
京成上野～京成船橋	450	450	520	520
京成上野～八千代台	555	560	649	650
京成上野～勝田台	618	620	720	720
京成上野～京成成田	859	860	1,010	1,010
京成船橋～八千代台	272	280	314	320
京成船橋～勝田台	335	340	387	390
京成船橋～京成成田	555	560	649	650
北習志野～京成幕張本郷	334	340	229	230
北習志野～八千代台	387	390	314	320
北習志野～船橋競馬場	334	340	229	230
新津田沼～八千代台	366	370	229	230
京成千葉～ちはら台	443	450	314	320

	現行運賃		届出運賃	
松戸～八柱	167	170	196	200
松戸～新鎌ヶ谷	209	210	249	250

②通勤定期旅客運賃(大人1ヶ月)　　(単位:円)

	現行運賃 (ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含)	申請運賃
京成上野～成田空港(京成本線経由)	30,660	34,420
京成上野～成田空港(成田空港線経由)	52,750	61,580
押上～成田空港(京成本線経由)	30,020	33,720
押上～成田空港(成田空港線経由)	50,180	58,500
京成上野～青砥	11,030	12,500
京成上野～京成船橋	17,440	20,120
京成上野～八千代台	20,850	24,140
京成上野～勝田台	21,290	24,640
京成上野～京成成田	23,530	27,200
京成船橋～八千代台	11,030	12,500
京成船橋～勝田台	13,270	15,180
京成船橋～京成成田	20,850	24,140
北習志野～京成幕張本郷	12,970	9,420
北習志野～八千代台	15,530	12,500
北習志野～船橋競馬場	12,970	9,420
新津田沼～八千代台	14,700	9,420
京成千葉～ちはら台	21,050	12,500

	現行運賃	届出運賃
松戸～八柱	6,240	6,350
松戸～新鎌ヶ谷	7,810	9,360

③通学定期旅客運賃(大人1ヶ月)　　(単位:円)

	現行運賃	申請運賃
北習志野～京成幕張本郷	5,400	2,850
北習志野～八千代台	6,380	3,790
北習志野～船橋競馬場	5,400	2,850
新津田沼～八千代台	5,910	3,050
京成千葉～ちはら台	12,220	3,640
松戸～八柱	3,290	1,890
松戸～新鎌ヶ谷	4,160	3,790

（3）鉄道収支実績および推定

（単位：百万円）

項目	2025年度	2028～2030年度（3カ年平均）		
	実績 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）	現行 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金抜）	現行 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）	申請
収入	93,340	99,610	101,891	112,146
原価	86,996	120,327	120,327	120,327
差引損益	6,343	▲20,717	▲18,436	▲8,181
収支率	107.3%	82.8%	84.7%	93.2%

※原価については、申請上の計算方式で算出しています。

※端数処理のため、各項目の計と差引損益が一致しない場合があります。

（4）運賃収入内訳

（単位：百万円）

項目	2025年度	2028～2030年度（3カ年平均）		
	実績 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）	現行 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金抜）	現行 （ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ料金含）	申請
定期外	53,991	57,124	58,358	65,703
定期	26,076	24,830	25,878	28,788
合計	80,068	81,954	84,236	94,490

（5）輸送人員の推移および今後の見通し

〈実績〉 （単位：千人）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定期外	89,353	106,763	121,935	129,536	170,250
定期	135,962	144,445	152,592	157,901	221,059
合計	225,315	251,208	274,527	287,437	391,309
前年比	―	111.5%	109.3%	104.7%	136.1%

〈将来推計〉 （単位：千人）

	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
定期外	172,867	175,877	176,713	180,292	182,889
定期	221,035	220,956	219,485	219,500	219,522
合計	393,902	396,833	396,198	399,792	402,411
前年比	100.7%	100.7%	99.8%	100.9%	100.7%

(6)設備投資実績・計画

①設備投資実績と計画

（単位：億円）

	2025年度（実績）	2026年度（計画）	2027年度（計画）	2028年度（計画）	2029年度（計画）	2030年度（計画）
安全・安定輸送の確保	177	335	258	275	215	228
お客様サービスの向上	50	125	86	70	101	80
輸送力増強	123	106	253	561	77	63
合　計	350	566	597	906	393	371

②主要プロジェクトの内容

「安全・安定輸送の確保」のための設備投資を最優先に実施するとともに、「お客様サービスの向上」のための設備投資、「輸送力増強」のための設備投資の3つの視点で積極的に設備投資を実施してまいります。

ア. 安全・安定輸送の確保

（2028年度～2030年度　平均：239億円／年）

・車両代替

・施設・設備の更新

・施設の耐震補強　など

イ. お客様サービスの向上

（2028年度～2030年度　平均：84億円／年）

・バリアフリー整備の推進

・駅舎のリニューアル　など

ウ. 輸送力増強

（2028年度～2030年度　平均：234億円／年）

・宗吾車両基地の拡充

・新型有料特急の導入　など

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

運賃改定の申請について
（補足説明資料）

2026年11月6日

京成電鉄株式会社

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

申請概要

■改定予定時期　2028年3月

■改定率等　　改定率：14.1%　増収率：12.2%
※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率・増収率

■初乗り運賃　　京成本線等170円（現行150円）
※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の運賃
成田空港線230円（現行210円）

■改定率および定期割引率

改定率				
普通運賃	通勤定期	通学定期	定期計	合計
14.3%	16.9%	△11.5%	13.7%	14.1%

※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率

定期割引率							
京成本線等				成田空港線			
通勤定期		通学定期		通勤定期		通学定期	
現行	申請	現行	申請	現行	申請	現行	申請
34.5%	36.3%	80.0%	83.1%	30.2%	30.8%	56.1%	61.4%

※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の定期割引率

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

運賃改定の概要

■運賃制度の統合
普通旅客運賃・定期旅客運賃ともに、千原線・松戸線の運賃を京成本線等と同額とする。併せて、京成本線等と千原線、松戸線を跨がる場合の運賃の併算（跨って利用する路線それぞれでの運賃収受）を廃止する。ただし、松戸線内の利用は京成本線と運賃を同額とすることで、運賃額が高くなることから、認可を受ける運賃とは別に、松戸線内利用の運賃を届出により設定する予定（これにより、６ｋｍを超える利用は京成本線等の運賃額より低い運賃額となる）。

	初乗り運賃　※（）はICカード運賃			
	京成本線等	千原線	松戸線	成田空港線
現行	１５０円（１４６円）	２００円（１９９円）	１７０円（１６７円）	２１０円（２１０円）
申請	１７０円（１６７円）			２３０円（２２９円）

※京成本線等・千原線も現行運賃は鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合です

■普通運賃
鉄道駅バリアフリー料金を含めた現行運賃と改定後運賃の改定率が20%以内になる改定とする。

■通勤定期
概ね対キロ区間ごとの普通運賃の値上げ幅に合わせた改定とする。

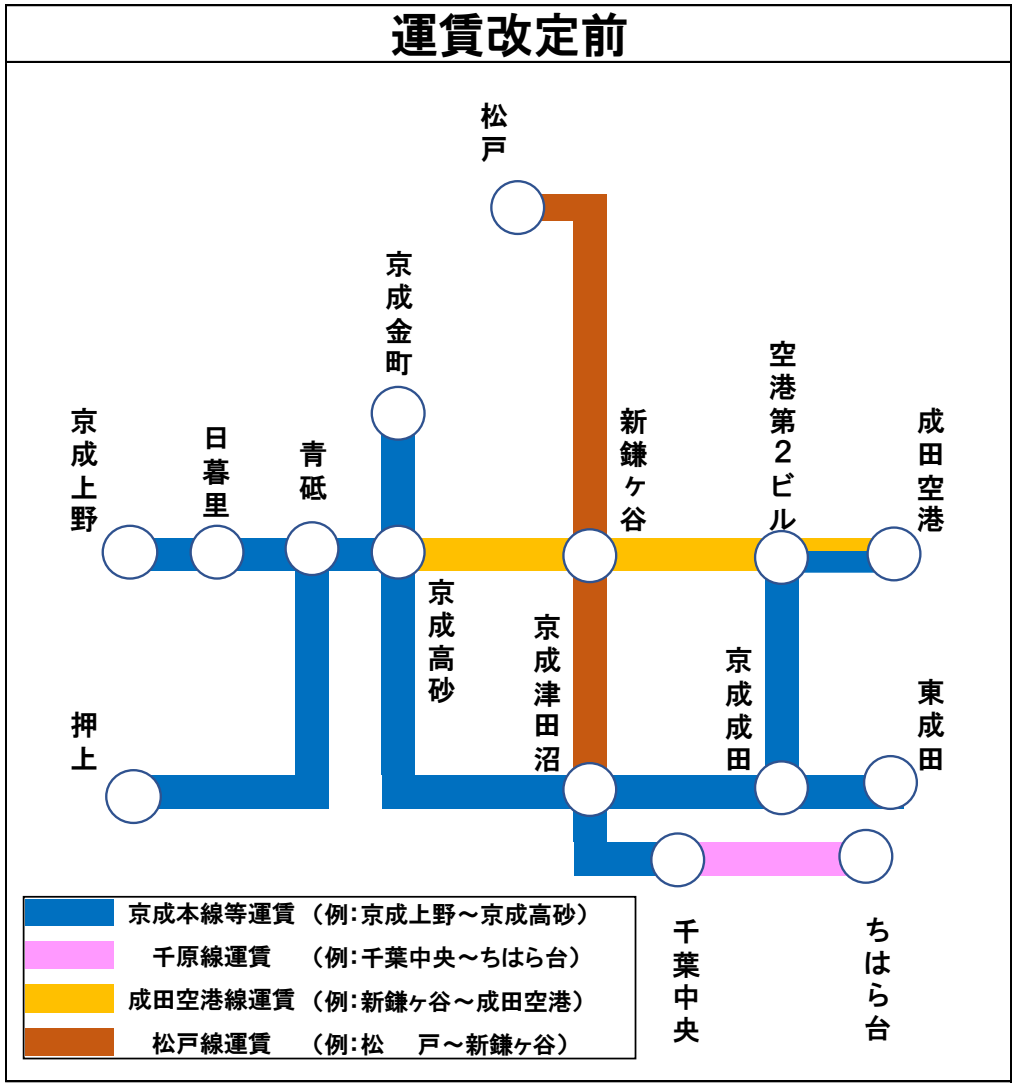
■通学定期
家計負担に配慮し、据え置きとする。

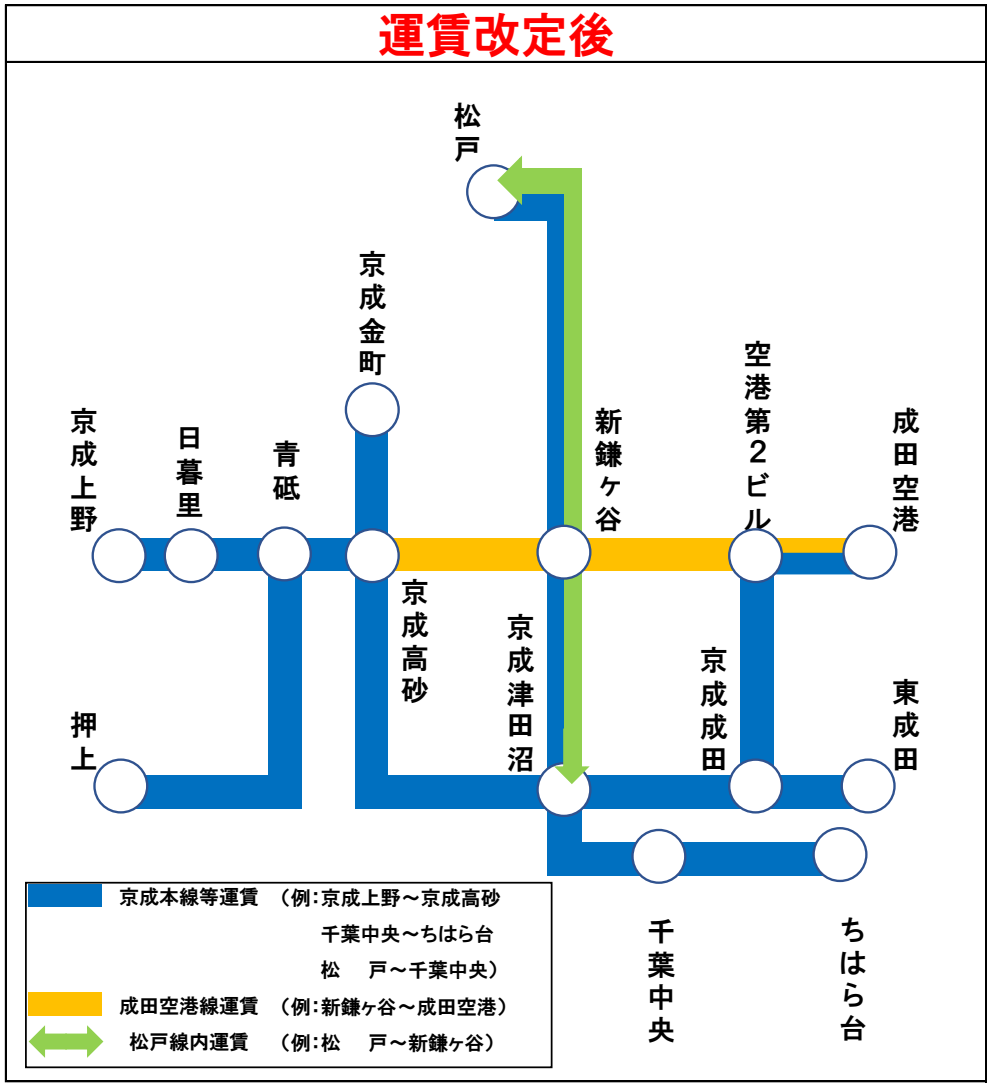
■鉄道駅バリアフリー料金
運賃への鉄道駅バリアフリー料金の加算は、今回の運賃改定にあわせ廃止とする。なお、現在整備計画にある施設整備を継続して実施するとともに、これまで以上に施設整備を推進していく。

Copyright ©　Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

運賃制度の統合①

■運賃制度の統合





Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

運賃制度の統合②

■運賃制度の統合

	運賃改定前		運賃改定後	
船橋競馬場 ～ 京成津田沼 （2.5km）	大人運賃：150円（きっぷ）			
	140円	鉄道駅 ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ 料金 10円		
千葉中央 ～ 千葉寺 （2.5km）	大人運賃：200円（きっぷ）		大人運賃：170円（きっぷ）	
	190円	鉄道駅 ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ 料金 10円	**170円**	なし
北習志野 ～ 滝不動 （2.5km）	大人運賃：170円（きっぷ）			
	170円	なし		

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

運賃制度の統合③

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

■運賃制度の統合による併算廃止

みどり台～千葉寺
（京成千葉線・千原線）
（千葉中央連絡）
（5.5km）

新津田沼～実籾
（松戸線・京成本線）
（京成津田沼連絡）
（5.5km）

運賃改定前

大人運賃：300円（きっぷ）

みどり台～千葉中央	140円	鉄道駅バリアフリー料金 10円	乗継割引 △40円
千葉中央～千葉寺	190円		
新津田沼～京成津田沼	170円	鉄道駅バリアフリー料金 10円	乗継割引 △20円
京成津田沼～実籾	160円		

大人運賃：320円（きっぷ）

運賃改定後

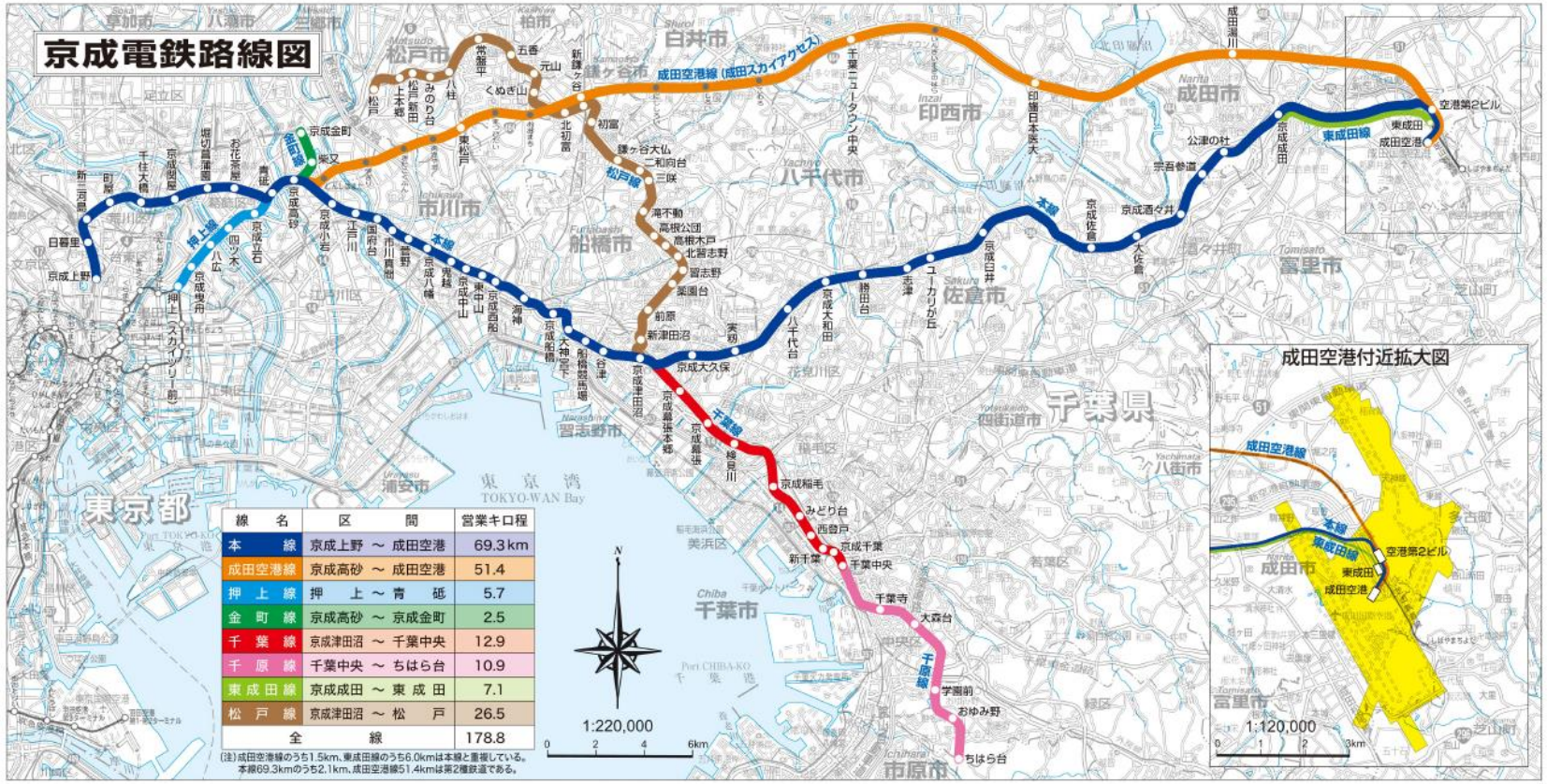
みどり台～千葉寺	230円

大人運賃：230円（きっぷ）

新津田沼～実籾	230円

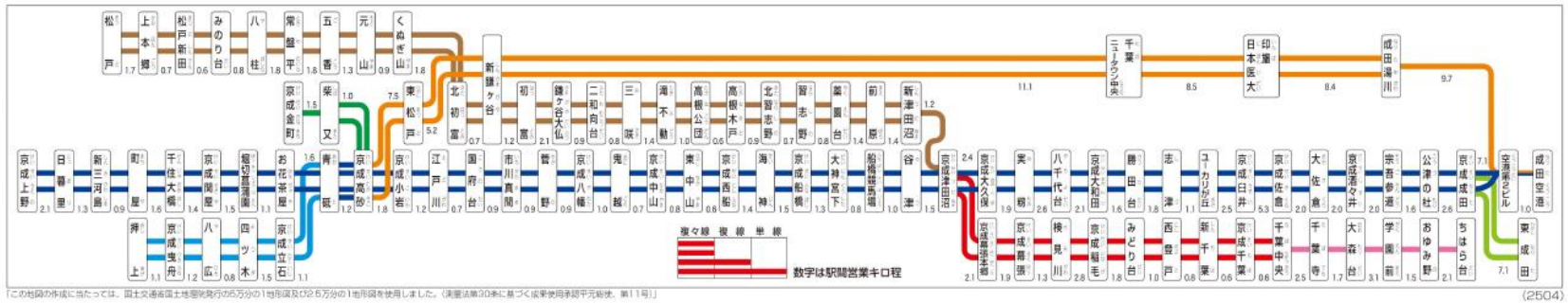
Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

鉄道事業の概要



線名	区間	営業キロ程
本線	京成上野 ～ 成田空港	69.3 km
成田空港線	京成高砂 ～ 成田空港	51.4
押上線	押上 ～ 青砥	5.7
金町線	京成高砂 ～ 京成金町	2.5
千葉線	京成津田沼 ～ 千葉中央	12.9
千原線	千葉中央 ～ ちはら台	10.9
東成田線	京成成田 ～ 東成田	7.1
松戸線	京成津田沼 ～ 松戸	26.5
全線		178.8

（注）成田空港線のうち1.5km、東成田線のうち6.0kmは本線と重複している。
本線69.3kmのうち52.1km、成田空港線51.4kmは第2種鉄道である。



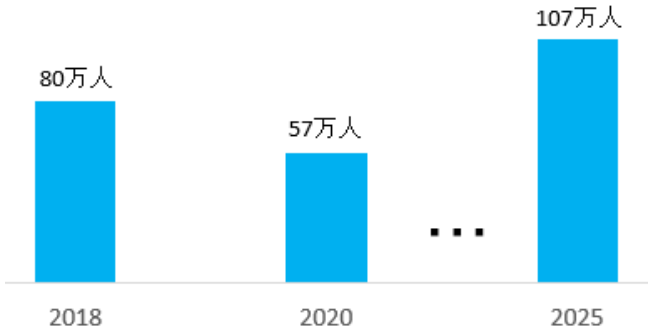
「この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図及び25万分の1地形図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認平元総使、第11号）」

(2504)

■営業キロ　178.8km
■駅数　　91駅
■車両数　　762両
■路線数　　8路線
　京成本線・千原線・成田空港線・
　松戸線・他支線系統4路線

■運賃制度
　当社は京成本線等（押上線・金町線・千葉線・東成田線含む）、千原線、 成田空港線、松戸線で4つの運賃制度を有している。

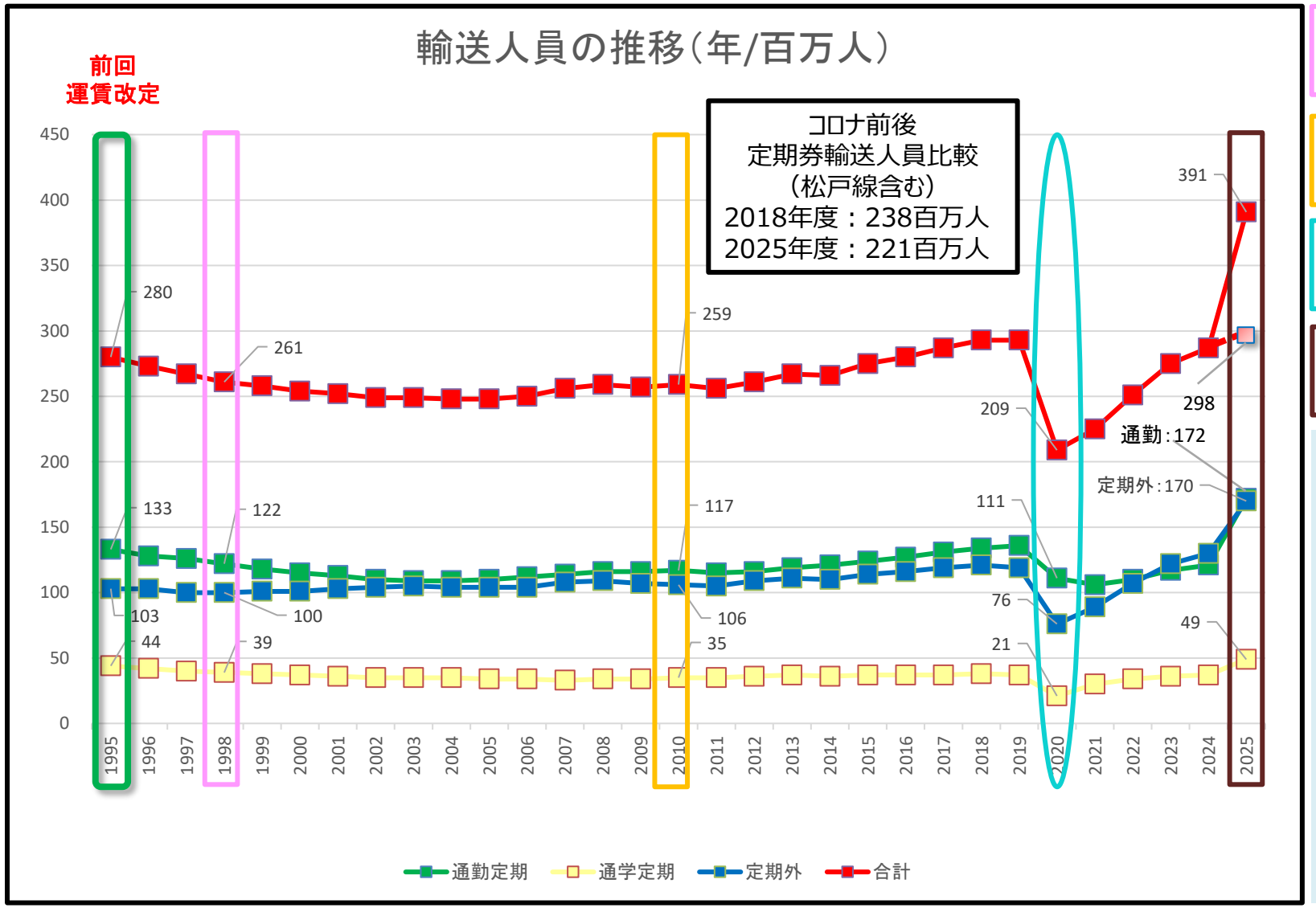
■1日あたりの輸送人員



※2025年度は新京成電鉄との合併で輸送人員増

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

事業環境の変化



■ は松戸線を除いた実績

■1998年10月1日
千葉急行電鉄から事業譲受 / 千原線営業開始

■2010年7月17日
成田空港線開業・営業開始

■2020年度
新型コロナウイルス流行拡大

■2025年4月1日
新京成電鉄と合併 / 松戸線営業開始

- 1995年の前回運賃改定以来、1996年～2019年まではおおよそ横ばいで推移してきた。
- 2020年に新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に落ち込んだ。
- 2025年に新京成電鉄と合併し、大幅に増加した。
- 松戸線を含め、コロナ後の定期券はコロナ前（2018年）の水準に戻っていない。

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

これまでの取り組み　安全・安定輸送の確保

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

●連続立体交差事業

沿線の自治体と連携し連続立体交差事業を推進。

2006年11月に海神～船橋競馬場間の高架化が完了、16ヵ所の踏切が廃止。

2015年8月に押上～八広間の高架化が完了、8ヵ所の踏切が廃止。

2019年12月に鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山間の高架化が完了、12ヵ所の踏切廃止。

現在、四ツ木～青砥間の連続立体交差事業を推進。



鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山間



四ツ木～青砥間

●ホームの安全対策

【ホームドア】

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、ホームドアの設置を推進。

2025年度までに日暮里駅、空港第2ビル駅、成田空港駅、押上駅への設置が完了。また、京成上野駅にホーム固定柵を設置。



日暮里駅ホームドア



押上駅ホームドア

●自然災害・安心安全対策



高架橋柱耐震補強
（千葉中央～千葉寺間）

【耐震補強】

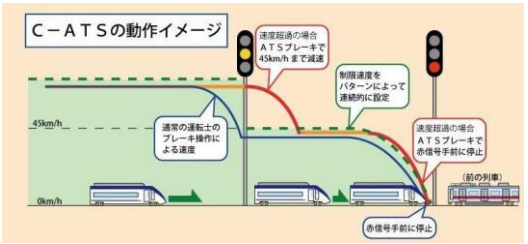
大規模地震への対策として、鉄道施設の耐震補強工事を推進。

【法面補強】

集中豪雨などにより法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため、法面補強工事を推進。

【C-ATS全線整備】

2025年度に松戸線（鎌ヶ谷大仏～北習志野間）に保安度の高いデジタルＡＴＳ「Ｃ－ＡＴＳ」を導入。京成線全線での整備が完了。



●車両代替・施設の更新

【車両代替】

3200形を導入。編成車両数を変更できる車両とすることで、輸送需要に見合った効率的な走行エネルギーの使用により環境負荷の低減に努める。



3200形

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

これまでの取り組み　サービスの改善

●バリアフリー化の推進



新千葉駅バリアフリートイレ

お体の不自由なお客様の利便性向上を図るために、エレベーター、スロープなどの各種バリアフリー設備の整備を推進。



日暮里駅行先表示設備

●スカイライナー停車駅追加・松戸線と千葉線の直通運転拡大



スカイライナーの一部列車が、2020年4月より青砥駅、2022年11月より新鎌ヶ谷駅に停車。

2006年12月より松戸線（旧新京成線）から千葉線への直通運転開始。
2025年12月より平日の日中時間帯の直通運転本数を拡大。

●駅施設のリニューアル

耐震補強工事に合わせた計画的な施設更新の推進。



新千葉駅（2025年度）



京成中山駅（2025年度）



市川真間駅（2024年度）

●AI顔認証を活用した乗車サービス

事前に顔情報を登録し、乗車駅の改札通過時に設置されたタブレットに顔をかざすだけで、スカイライナーの座席指定チケットが発券され、窓口や券売機に並ぶことなくそのまま乗車できるサービス「Skyliner e-ticket Face Check In Go」を導入。



成田空港駅



Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

これまでの取り組み　沿線価値向上

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

●桜に染まるまち、佐倉



桜の開花時期に合わせて、佐倉城址公園等、桜の名所や歴史的建造物が点在する「城下町」佐倉への誘客を目的とした観光キャンペーンを実施。沿線の自治体等との連携を強化するとともに、京成グループの事業エリアの魅力向上および地域社会の発展・活性化に寄与してきた。



●市川ママ駅





表面



裏面

市川真間の読みが「いちかわまま」であることにちなみ、「母の日」に合わせて行っているイベント。母の日当日には真間銀座会(商店街)と連携し、グッズ販売会などのイベントも開催している。

●新鎌ヶ谷エリアの開発推進について



新鎌ヶ谷駅前において、千葉県企業局による土地活用提案の公募に当社が事業者として選定され、土地を取得の上、開発を推進。2026年9月に駅直結の商業施設「ekubo 京成 新鎌ケ谷」を開業したほか、南北自由通路を整備し、駅周辺の賑わい創出と回遊性向上に貢献した。今後も、駅を中心としたまちづくりを進め、沿線地域の持続的発展に取り組む。

●宗吾車両基地・くぬぎ山車庫キッズフェスタ

普段入ることが出来ない車両基地内において、クレーンで車体を吊り上げる作業を見学できるほか、運転シミュレータやドア開閉装置の体験、ミニスカイライナー乗車会等を実施している。春が宗吾車両基地、秋がくぬぎ山車庫での開催となっている。





Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

これまでの取り組み　輸送力増強

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

●成田空港線開業

2010年7月に成田空港線が開業。スカイライナーでの日暮里～空港第２ビル駅間の所要時間がそれまでの最速51分から36分となり、15分の短縮を実現。
運行本数も開業前の49本/日から、現在85本/日まで増発。合わせてアクセス特急を54本/日運行。



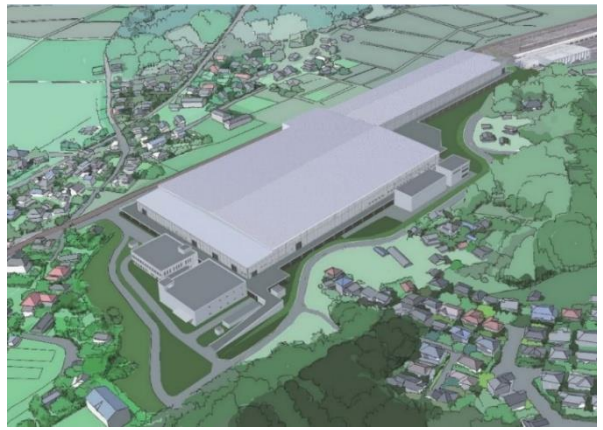
３代目京成スカイライナー



3100形の導入

●成田空港の機能強化に伴うアクセス強化

成田空港の機能強化に伴う将来の航空旅客の増加に向けて、輸送力を強化するために宗吾車両基地の拡充や新型有料特急の導入を推進。



宗吾車両基地拡充



新型有料特急導入

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

経営合理化の状況および今後の取り組み

- 一部時間帯のワンマン化実施

  2022年11月のダイヤ改正で金町線、千原線、東成田線の一部時間帯においてワンマン化を実施。

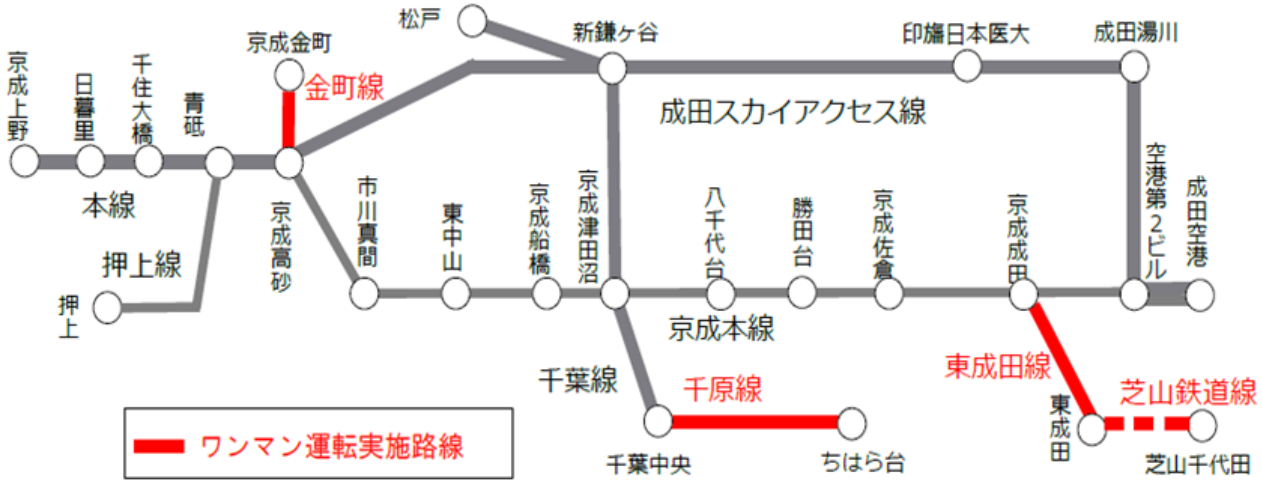
- ダイヤの適正化

  2022年11月のダイヤ改正で、日中・夜間時間帯における運行本数の見直しおよび一部列車の行先・種別の変更を実施した。

  今後も、お客様のご利用状況を踏まえた分かりやすく、乗り換えが便利なダイヤを設定していく。

- 業務効率化

  運輸部門では、上記施策の実施に合わせて、乗務員の勤務体系を効率化したほか、施設部門では組織体制を見直し運営体制を効率化した。





Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

経営合理化の状況および今後の取り組み

- 一人勤務駅の設定

  2007年12月から駅員数を1人にする一人勤務駅を設定（現在：88駅中16駅）した。なお、松戸線の一人勤務駅では駅員不在の時間帯に遠隔監視を行っている。

- 省エネ車両の導入

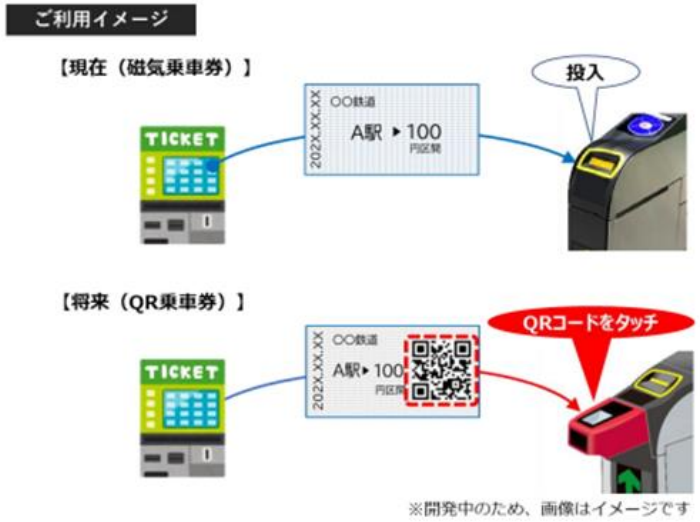
  2024年度より、新形式車両3200形を導入。フレキシブルに編成車両数を変更できるほか、消費電力のさらなる低減を図ることで環境への配慮も図っていく。

- 磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券への置き換え

  当社を含めた鉄道7社にて、磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券置き換えを2027年春以降、順次実施。

  ※ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標





Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

今後予定している設備投資の内容

- これまで安全・安定輸送の確保を中心に設備投資を実施してきたが、今後は安全・安定輸送の確保に加え、ホームドア等のバリアフリー整備や新型有料特急導入等、お客様サービスの向上、輸送力増強のための設備投資を実施していく。
- 2028年度～2030年度の3カ年において、当社史上最大規模となる1,670億円の設備投資を実施。
- 1998年度～1999年度の千原線営業開始、2009年度～2010年度の成田空港線開業を除くと、2010年代半ばまでは概ね100億円/年程度、それ以降は徐々に増加し、コロナ禍前は200億円/年程度で推移。

■今後の設備投資計画の視点
①**安全・安定輸送の確保**のための設備投資を最優先に実施するとともに、②**お客様サービスの向上**のための設備投資、
③**輸送力増強**のための設備投資、の3つの視点で積極的に設備投資を実施していく。

①	安全・安定輸送の確保	➢ 車両代替、施設・設備の更新、施設の耐震補強、職場環境改善 など	2028年度～2030年度計 718億円(239億円/年)
②	お客様サービスの向上	➢ バリアフリー整備の推進、駅舎のリニューアル など	2028年度～2030年度計 251億円(84億円/年)
③	輸送力増強	➢ 宗吾車両基地の拡充、新型有料特急の導入 など	2028年度～2030年度計 701億円(234億円/年)

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

今後予定している設備投資の内容

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

■今後予定している設備投資の規模および主な内容

（億円）

プロジェクト分類	2021	2022	2023	2024	2025	2026（計画）	2027（計画）	2028（計画）	2029（計画）	2030（計画）
安全・安定輸送の確保	118	108	124	132	177	335	258	275	215	228
お客様サービスの向上	8	20	21	23	50	125	86	70	101	80
輸送力増強	11	7	14	77	123	106	253	561	77	63
合 計	**136**	**135**	**160**	**232**	**350**	**566**	**597**	**906**	**393**	**371**

2028年度～2030年度計　1,670億円(557億円/年)

※数値はプロジェクト単位で億円単位を四捨五入

(2028年度～2030年度 設備投資の主な内容)

プロジェクト	投資額/年	主な内容
安全・安定輸送の確保	239億円	**車両代替、施設・設備の更新、施設の耐震補強、職場環境改善　など**
お客様サービスの向上	84億円	**バリアフリー整備の推進、駅舎のリニューアル　など**
輸送力増強	234億円	**宗吾車両基地の拡充、新型有料特急の導入　など**
合　計	**557億円**	

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

今後予定している設備投資の内容　安全・安定輸送の確保

いろんな笑顔を結びたい
京成電鉄

●車両代替

さらなる安全性・快適性の向上のため、3200形を順次導入。製造から40年を超える車両との置き換えを実施。





●押上線葛飾区内連続立体交差事業

平和橋通り等の沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進される。



●変電所更新

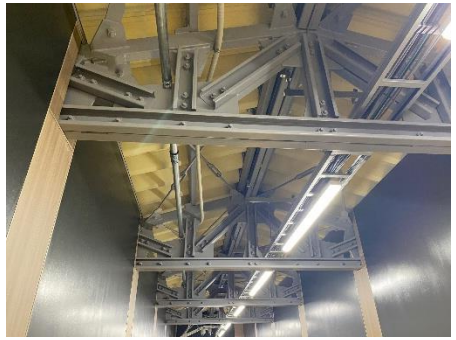
竣工から40年以上が経過する五香変電所をはじめ、老朽化が進む変電所を計画的に更新する。





●自然災害への対策

激甚化する自然災害に備え、耐震補強や法面補強、京成本線荒川橋梁架替工事を引き続き推進。





耐震補強



法面補強



京成本線荒川橋梁架替工事

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

今後予定している設備投資の内容　お客様サービスの向上

●バリアフリー設備の整備

・ホームドアは2026年度から2030年度までに17駅48番線の整備を目指す（うち、松戸線内３駅６番線、北総線・成田スカイアクセス線内３駅10番線を含む）。なお、2035年度までに21駅57番線の整備を目指す。
・エレベーターやスロープ等による駅の段差解消やバリアフリートイレの整備を推進するほか、ホームと車両床面の段差・隙間縮小に取り組む。



ホームドア



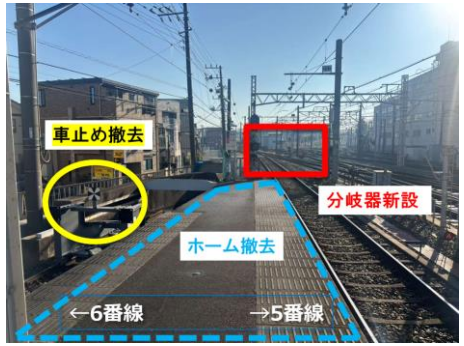
エレベーター



バリアフリートイレ

●京成津田沼駅改良

京成津田沼駅の松戸線ホームと線路を改良することで、松戸線と千葉線・千原線の直通運転の更なる拡大を目指す。



●駅舎リニューアル

経年劣化に対応するため、駅舎のリニューアルを実施。京成佐倉駅や船橋競馬場駅、八千代台駅等を予定。



●磁気乗車券からＱＲコード※を使用した乗車券への置き換え

鉄道サービスの持続的な提供を実現するため、より環境にやさしい用紙への置き換えやお客様サービスの向上を目的に、磁気乗車券からＱＲコードを使用した乗車券への置き換えを実施する。



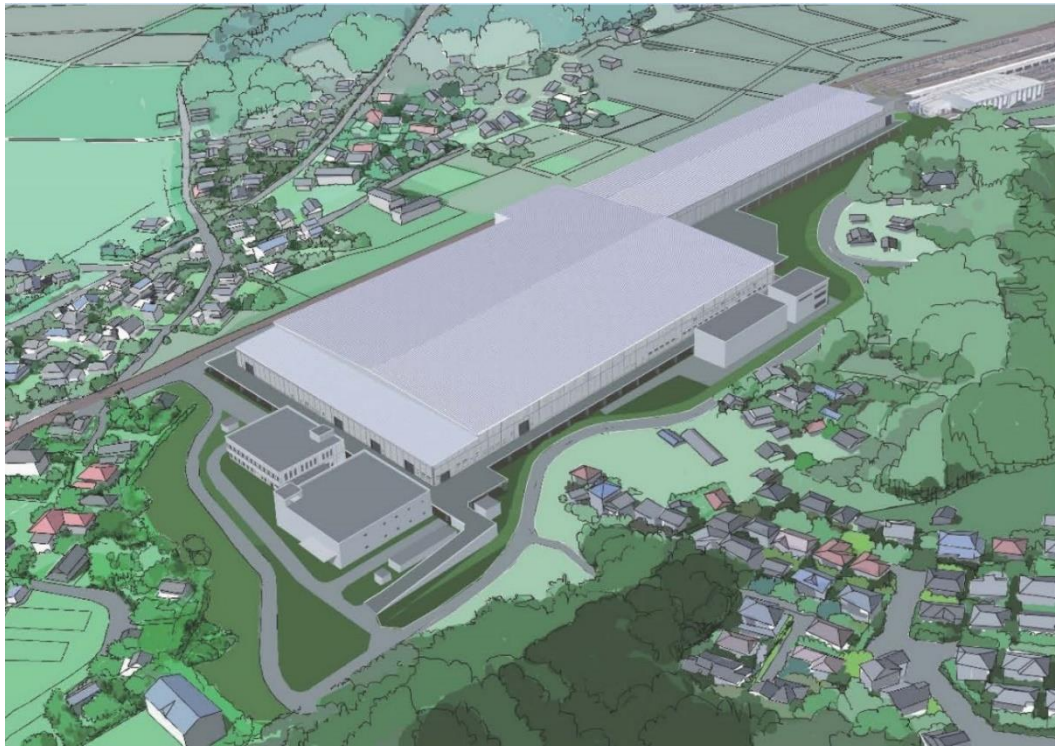
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

今後予定している設備投資の内容　輸送力増強

●宗吾車両基地拡充

成田空港の機能強化に伴い、今後更なる空港利用者の増加が見込まれており、当社としても空港輸送を支える立場として、将来の旅客需要確保に向けて輸送力を強化していく必要がある。そのためには、現宗吾車両基地内の留置機能強化および工場規模拡充が必要となることから、宗吾車両基地を拡充する。



●新型有料特急導入

成田空港の機能強化に対応するため、空港と都心間の更なる輸送力増強およびサービス向上を図るべく、2028年度の運行開始に向けて新型有料特急を導入。2027年度に1編成（8両）、2028年度に6編成（48両）を導入予定。



外観イメージ



一般車内装イメージ



特別車内装イメージ

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

運賃改定の理由

■当社はこれまで、「安全・安心」を第一に、東京都東部・千葉県で沿線の皆様の暮らしを支えると共に、成田空港輸送を担い、国民生活と社会経済活動に欠かせない公共交通機関として事業を運営してきた。1998年には千葉急行電鉄（現在の千原線）から鉄道事業を譲り受け、2010年には空港アクセス新線として成田空港線を開業させたほか、2025年には新京成電鉄（現在の松戸線）と合併するなど、地域輸送の維持、成田空港輸送の強化に努めてきた。

■引き続き、安全・安心なサービスをお客様にご提供するため、駅・線路などの鉄道諸施設や車両の維持管理や安全性向上を計画的に実施するとともに、エレベーター・エスカレーター設置やホームドア整備の加速など、バリアフリー化を含めた利用者サービスの向上にも積極的に取り組む。さらに、各行政機関と連携して、京成本線荒川橋梁及び綾瀬川橋梁架替、葛飾区内の連続立体化といった災害対策や交通渋滞対策等の社会的ニーズに対応した大規模工事への対応も行う。加えて、新京成電鉄との合併に伴い、京成津田沼駅6番線ホームを千葉線と接続する工事を実施し、松戸線と千葉線の直通時間帯を拡大するほか、松戸線～千原線の直通運転を実施して利便性の向上を図る。

■一方で、テレワークなどの新たな生活様式の定着による社会構造の変化での利用者減少に加え、近年の物価上昇に伴い人件費・電力料・経費など各費用が増加、直近では中東紛争による費用の更なる増加等、今後も厳しい経営環境が想定される。

■このような状況の中、安全・安心な輸送サービスをお客様に提供するための諸施策を計画的に実施するためには、多額の設備投資が必要となることに加えて、現在計画されている成田空港の機能強化に伴う空港利用者の増加に対応するためには、新型有料特急の導入や車両基地の拡充、さらには成田湯川駅～成田空港駅間の単線区間の複線化、新鎌ヶ谷～印旛日本医大間のスカイライナー及び新型有料特急専用の新線整備（複々線化）、空港駅の折り返し機能の改善等の国や空港会社の取組に対応した中長期的な大規模投資を行う必要がある。

■併せて、新京成電鉄との合併を踏まえて、現行運賃制度の異なる京成本線等と千原線、松戸線の運賃制度の統合を実施し、千原線及び松戸線と京成本線等を乗り継ぐ場合の併算を廃止する等、お客様にわかりやすい運賃制度に改め、お客様の利便性向上を図っていく。

Copyright © Keisei Electric Railway Co.,Ltd.